



YELL

エール
第43号

那須教育事務所ふれあい学習課
〒324-0056 栃木県大田原市中央 1-9-9
Tel:0287(23)2177 FAX:0287(23)2193
Mail:nasu-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

～さわやかな季節になりました～

厳しかった残暑も和らぎ、朝夕は過ごしやすくなりました。さて、今号では、那須町立那須高原小学校の「地域連携教員の実践」について紹介していきたいと思います。地域連携教員は教務主任の大谷津孝祥先生です。

地域連携教員配置から3年目を迎え、那須高原小学校では、地域連携に関して教職員の意識改革が進んでいます。それに伴い、地域や保護者の地域連携活動に対する理解も、深まってきました。これらの活動が始まった当初は、学校の中に地域の教育力が入ることにまだ抵抗があるなど、様々な課題を抱えていたそうです。そこで、どのようにして課題を解決し、地域連携活動を活性化させていったのか紹介していきたいと思います。

★1年目は「整える」時期！！

●校内研修・・・教職員に地域連携活動について理解してもらうこと、地域連携活動の必要性を感じてもらうことをねらいとして、既に設置されていた学校支援委員会の取組等について詳しく説明する研修会を実施した。(学習・運動・図書・環境・安全の5つの委員会からなる学校支援委員会は、学校支援ボランティアとして活動して下さる方々が委員になっている。)



図書支援委員会の活動の様子

●地域連携年間活動計画や学校支援ボランティアの名簿作成・・・「活動月」「学年」「教科」「単元名」や、「連絡先」「連携先代表者」等を分かりやすく一覧表にまとめた地域連携年間活動計画や学校支援ボランティアの「名前」や「電話番号」等をまとめた名簿を作成。地域連携年間活動計画については、初年度は地域連携教員が作成したが、次年度からは担任の先生に作成を依頼。こうすることで、計画的・組織的な学校支援体制の確立と教職員の意識を高めることができた。

●教職員への働きかけ・・・地域連携の効果を実感してもらうために、地域連携教員が地域連携可能な学習を継続的に紹介し、先生方に積極的に取り組んでもらった。



ピザ作り体験



介助犬について

★2年目は「軌道に乗せる」時期！！

●1年目に取り組んだ活動の見直し・・・地域連携は目的ではなく手段であるということを念頭に置き、連携活動を広げたり、取り組んだ結果、必要がないと思ったものはやめたりするなどして活動を精選し、次年度につなげていった。

●顔の見える関係づくり・・・現職教育の時間を活用し、全職員と学校支援協議会のメンバーが一堂に会し研修会を開催することにより、地域連携活動についての共通理解を図ると共に、地域コーディネーター、各委員会代表、地域諸団体と教職員とが顔の見える関係づくりをした。



学校と支援協議会の顔合わせ

★3年目は「充実」の時期！！

●地域コーディネーターと連絡調整・・・2年目までは、担任と地域コーディネーターとの連絡調整を、全て地域連携教員が行っていた。3年目になると、地域連携教員が仲介しなくても担任が直接地域コーディネーターと連絡調整をするようになり、地域連携教員は打合せに同席するだけということも増えてきた。

顔の見える関係づくりの成果といえるでしょう。

★毎年取り組んでいるもの

●ガイドブック

の作成・・・「地域の方・学校支援ボランティアのための学校ガイドブック」を冊子



ガイドブック

にして、地域や各家庭に配布。学校の日課や下校時刻、地域連携年間活動予定、学校支援ボランティアについての説明、職員の紹介等、地域連携に役立つ情報を盛り込み、地域の学校理解に役立っている。

様々な取組を紹介してきました。ここで紹介した取組の中で、「どれか一つでもやってみよう。」「この取組を、少し変えれば取り組みそうだ。」等、各学校の参考になれば幸いです。

地域連携は「チーム学校」としての一つの形だと思います。地域コーディネーターさんも学校ボランティアさんも、チームの一員なのです。地域連携教員が一人で背負う必要はありません。連携が充実してくると、簡単な段取りで最大の効果を得られるのが地域連携です。チーム一丸となって取り組んでいってください。



